

「バンコマイシン耐性腸球菌感染症」届出増加について

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症は、感染症法上の5類全数把握対象疾患です。感染症発生動向調査における届出患者数は全国で2011～2019年まで年間100例未満で推移していましたが、2020年は135例と増加しています。和歌山市内においても、下記のとおり2020年から報告があり、VREの拡がりと考えられます。

VREは通常、人体に対して無害ですが、血流感染や尿路感染の起因菌となることがあります。また、院内感染の原因となる代表的な薬剤耐性菌の1つであり、その対策には感染症法の届出対象となる発症者だけでなく、**保菌者の把握も重要**です。

[参考：医療機関における院内感染対策について（厚生労働省医政地発1219第1号平成26年12月19日通知）]

【過去5年の推移（和歌山市）】

	届出患者数	届出医療機関数	菌種名
2021年（25週まで）	5	3	すべて <i>E. faecium</i>
2020年	12	5	すべて <i>E. faecium</i>
2019年	0	0	
2018年	0	0	
2017年	0	0	

和歌山市では、届出に加えて、複数の医療機関から保菌者の情報が報告されています。

昨年度、3医療機関でVRE患者周囲の入院患者や環境検体等のスクリーニング検査を行い、国立感染症研究所にて分析をおこなったところ、同一菌種、同一耐性遺伝子（vanA遺伝子）が分離され、バンドパターンがほぼ一致しました。

これらの結果や発生状況から、市内の多くの施設や病院での感染拡大により市内全体に拡がりを呈している可能性が示唆されます。

すべての医療機関において、再度、院内感染対策（特に手指衛生）を徹底していただくとともに、VREが検出された場合は、保菌でも保健所への情報提供をお願い致します。

【2020年 耐性遺伝子検査（国立感染症研究所）】

医療機関	検体		菌種名	耐性遺伝子
医療機関 A	保菌者	11	<i>E. faecium</i>	VanA
	環境検体	1	<i>E. faecium</i>	VanA
医療機関 B	届出者	2	<i>E. faecium</i>	VanA
	保菌者	3	<i>E. faecium</i>	VanA
医療機関 C	届出者	1	<i>E. faecium</i>	VanA
	保菌者	1	<i>E. faecium</i>	VanA